

# 東京龍門会報

発行所  
 東京都品川区五反田2-21-20  
 株式会社 国分電機内  
 電話(445)6311  
 東京龍門会  
 発行人 国分和夫

総会風景



## 会員相互の親睦と母校の発展に 寄与する東京龍門会

第九回東京龍門会の総会が、去る五月九日(土)品川区上大崎にある三州クラブで開催された。五月晴れの土曜日とあって、旧中学二期の卒業生から旧高女、そして高校30期ぐらいまでの、いかにも加治本高等学校の歴史を物語るが、ごとき幅広い層にわたる老若男女の同窓生約一五〇名が参加した。

総会は、国分和夫東京龍門会会長のあいさつに始まり、新・旧両方の同窓会会長から各地域に於ける同窓会の様子と東京会員への励ましを、また学校長からは加治本高校の近況を中心に、それぞれ各氏がそれぞれの立場からあいさつがあり、いずれも同窓生の固い絆と親睦を通して後輩の育成をめざす「加治本高等学校教育振興会」への援助がその要旨であった。

議事に入り55年度の事業報告と会計並びに監査報告が、続いて56年度の事業計画と予算案が審議されたがいづれも万場一致で承認された。

(別項参照)  
 とどこおりなく総会も終り例年ならパーティーに入るとこ

ろであるが、今年はずっと趣きを変え文化放送の協力ではやりの万才が余興として企画された。

これは文化放送が毎週月・金曜日に放送している「サントリー出前寄席」という番組の出張録音取りである。これらの実況録音は五月十三日午後一時三〇分より放送された。お聞きになった方もおられると思う。型通りの総会後の開放感も相まってか、会場はまさにわれんばかりの爆笑の渦と化し、日頃おきたい大先輩諸氏の顔もゆるみばなしであった。

その後郷里のアサヒ焼酎で懐かしい同窓生と盃を交わしながら、談笑のひとときを過ぎ午後四時半頃散会した。



東京二・京太の熱演ぶりに会場は大爆笑

### 同窓・同期会だより

加中三〇回生卒業

五十周年記念

クラス会

私どもが昭和六年三月加治木中学を卒業してから今年で満五十年になるので記念としてクラス懇親会を左記の通り開催した。

記

日時 五十六年四月二十五日(土)午後三時より

場所 日当山温泉センター

集まった者は東京三大阪二浜

松一名福岡一名を含め総計二十九名(生存者の約半数)

五十年振りに会う人も多く

「オマンサーは誰ですか」

「ハイ蒲生の酒匂です。前は野中といっていました」

「チャットナー。そう云われ、

ば昔の思影があります」

の会話があちこちでかわされ

た。

春の一夕を盛大にしかも有意

義に過しなお

これを機とし

て毎年一回ク

ラス会を催す

ことを決定し

た。

(浜田隆忠記)

名古屋龍門会

教育振興会に48万円

名古屋龍門会の総会を名古屋

屋敷前都ホテルのサロン・ド

・ミヤコにて開催しました。

一人でも多くの会員の出席を

願って、幹事一同で工夫しま

したが前回よりや、少なく、

努力の不足かと一同反省して

いる次第です。会場も名古屋

の一流ホテルの豪華なサロン

を借り切り、熱気こもる同窓

会のふん囲気を期待していた

だけたまことに残念に思いま

した。当日たまたま先約のた

め出席を断念せざるを得ない

会員の多かつたせいもありま

したが……。

さて加治木高等学校教育振

興会基金として、名古屋龍門

会ではすでに徴収済みの金額

と当日の出席者からの寄金と

合算しますと四十八万円とな

り、振興会宛に振り込みまし

た。

宴会は少人数ながら和やかに

に話はずみ、石井八重子(中

29旧姓森之)さんのすばらしい

詩吟に聞きほれ、終わりに

全員で声を張り上げ、遙かな

る母校の発展を願い、青春の

日々に想いをはせつつ閉会し



第30回(昭和六年卒)加治木中学校同窓会 S56. 4. 25 於日当山温泉センター

名古屋にもお立寄りいただき、

旧交を温める機会を与えてい

ただきますならば当地区会員

一同うれしい限りです。心か

らお待ちしています。

(法元盛義記)

鹿兒島龍門会

各部門受賞者を祝う

鹿兒島龍門会を鹿兒島市内

のホテル鶴鳴館「鶴家」で開

き、この一年間、各部門で叙

勲並びに受賞された方々をお

祝い致しました。卒業回次順

にご紹介しますと、現在大口

市に住まいの江川常蔵氏(中

24回卒、江川商事社長)が永

年大口市議会議長を務め、地

方行政に貢献され勲五等瑞宝

章の叙勲。原口時雄氏(中25

回卒、九州学院大学教授)は

国分市在住で、現在も教べん

をとり永年教育に貢献され、

勲四等瑞宝章の叙勲。皆さま

もご存知の英語の先生です。

当会の会長佐藤八郎氏(中26

回卒)が、医学部長を四期務

め医学に多大の貢献をされた

ことで勲二等瑞宝章の叙勲。

岩沢光男氏(中38回卒、岩沢

組社長)は、現在加治町で建

設会社を経営され、県建設業

協同組合の副会長を務めその

功績で黄綬褒賞を受賞。時任

純孝氏、(中41回卒)は、現在

南日本文化賞を受賞。法元憲

一氏(中46回卒)は現在国分

高校で教べんをとっておられ

ますが、南日本書道展第30回

記念大賞、県芸術文化賞、日

展特選。新納征史郎氏(高15

回卒)は現在加治木町で陶器

に情熱を燃やし、第八回鹿兒

島陶芸展で内閣総理大臣賞を

受賞。以上七名が受賞された

方々です。そのほか衆参同時

選挙で見事当選された村山喜

一氏(中18回卒)と小里貞利

氏(高1回卒)のご両人をお

祝い申し上げるためご案内し

ましたが、都合悪く欠席され

ました。また白濱傳氏(中38

回卒)が鹿兒島中央高校校長

に栄転され後任には上原寛氏

(中38回卒)が就任、同級生

での交代に全員一同大喜びで

した。各受賞者一人一人から

今日迄の生きがいを披露され

ただただ感服し、先輩の偉業

の重みを全員一同かみしめま

した。師走の近き夜も短く感

じ、忘年会に入るのも忘れる

程、喜びにひたる一時でした。

当日出席の最長老は豊平金助

氏(中9回卒、明四十三年)。

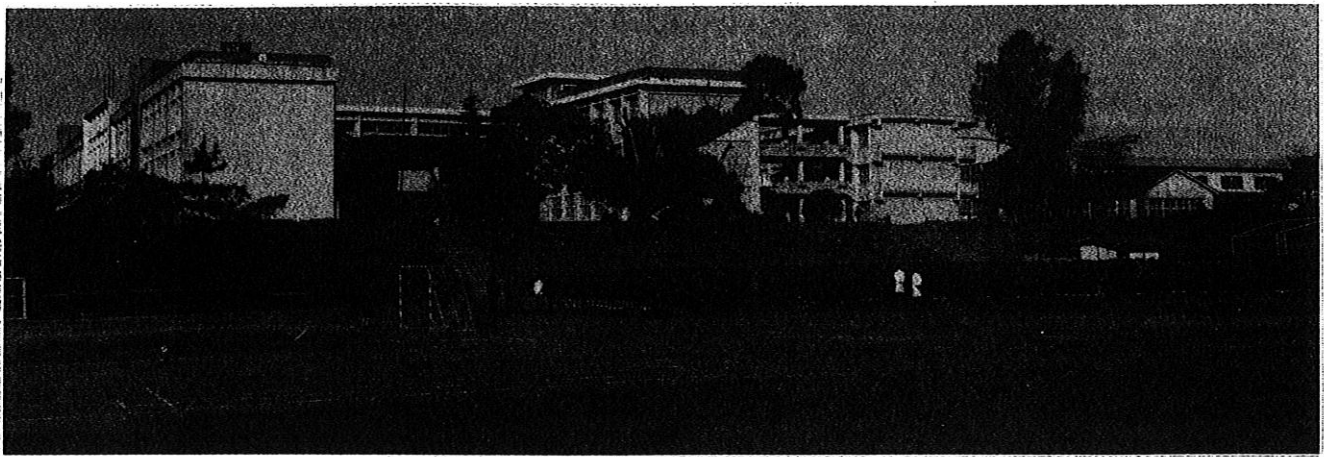
福山町出身で八十七歳。若い

者には負けないと気炎をあげ

ながら、乾杯の音頭をとって

いただき、開宴となりました。

(安藤旭記)



この写真はどこでしょう。楠木とスタンドがヒントです。

収入の部				支出の部			
科目	55年度予算	55年度決算	増減	科目	55年度予算	55年度決算	増減
1 総会費	550,000	363,000	△187,000	1 総会費	550,000	473,391	△76,609
2 年会費	1,200,000	709,250	△490,750	2 会報関係費	200,000	193,800	△6,200
3 会報告収入	80,000	0	△80,000	3 通信費	400,000	72,000	△328,000
4 預金利息	11,000	48,512	37,512	4 会議費	200,000	154,089	△45,911
5 教育振興会寄附金収入		(926,000)	(926,000)	5 関東鹿児島県人会広告費	50,000	50,000	0
6 その他寄附金		62,000	62,000	6 振込手数料	25,000	0	△25,000
7 本部補助費	5,000	5,000	0	7 事務費	150,000	66,430	△83,570
				8 新名簿作成積立金	600,000		△600,000
8 前年度繰越金	945,120	945,120	0	9 予備費	100,000	11,070	△88,930
				10 振興会寄付金		2,042,000	2,042,000
合計	2,791,120	4,174,882	1,383,762	11 次年度繰越金	516,120	1,112,102	595,982
				合計	2,791,120	4,174,882	1,383,762

昭和55年度経過報告と収支決算表

昭和55年度

- 5月9日 幹事会 55年度総会準備
- 5月24日 55年度総会開催  
出席者144名 佐藤八郎同窓会会長・上原実校長出席
- 8月29日 幹事会会報発行・教育振興会・第6回関東鹿児島県人会連合大会名簿作成について
- 11月15日 第2回囲碁の集い  
A組(有段者)優勝者  
B組(1級以下)優勝者
- 1月24日 幹事会名簿作成と総会打ち合わせ

次年度繰越金の内訳

郵便貯金	133,970
銀行預金	973,132
現金	5,000
計	1,112,102

昭和56年度計画案と収支予算案

- (1) 56年度総会の開催
- (2) 会報(第6号)の発行
- (3) 第3回囲碁の集い、第2回釣りの集い  
ゴルフコンペ; その他の同好会の企画と実施
- (4) 会員名簿(第4号)の発行
- (5) 総会欠席者に対する総会概要と年会費払込方の通報
- (6) 財団法人「鹿児島県立加治木高等学校教育振興会」の基本財産の増資寄付金集め

収入の部				支出の部			
科目	55年度決算	56年度予算	摘要	科目	55年度決算	56年度予算	摘要
1 総会費	363,000	400,000		1 総会費	473,391	500,000	
2 年会費	709,250	800,000		2 会報関係費	193,800	200,000	
3 会報告収入	0	0		3 通信費	72,000	200,000	
4 本部補助費	5,000	5,000		4 会議費	154,089	200,000	
5 預金利息	48,512	50,000		5 関東鹿児島県人会広告費	50,000	50,000	
6 振興会寄付金	(926,000) 1,116,000	1,000,000		6 事務費	66,430	100,000	
				7 同好会費	—	150,000	
				8 名簿作成費	—	700,000	
				9 振興会寄付金	2,042,000	1,000,000	
				10 予備費	11,070	100,000	
6 次年度繰越金	945,120	1,112,102		11 次年度繰越金	1,112,102	167,102	
合計	4,174,882	3,367,102		合計	4,174,882	3,367,102	

